

目標達成計画

作成日: 平成 27年 2月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	36	継続して、認知症が進行しても、一人ひとりの人格やあるがままの姿を尊重していくことができるようにする。特に言葉遣いには注意をして、一人の『人』として、支援していく必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> まずはあるがままの姿を受け入れる。 一人ひとりの現状を的確に把握する。 適切な言葉遣いをする。 プライバシーを確保する。 	<ul style="list-style-type: none"> アセスメントや日々の記録の中で、状況を把握して、共有する。 日々の言葉遣いを考え使用する。 職員同士、お互いに適切な言葉遣いや支援方法がチェックしていく。 	12ヶ月
2	25	入居時や適時、アセスメントやチェック表を行なっているが、まだ十分に日常生活に活かすことができていない。その日その日の精神状態や体調などの見極めが十分できておらず、対応しきれっていない。	<ul style="list-style-type: none"> さらなる『気づきの力』の向上 アセスメントを確実にを行い、情報を共有する。 アセスメントに基づいて、一人ひとりの身体・精神状態に合わせて、支援する。 チェック表を確実に記入して、必要時には変更して、適切に支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> まずは身近な身だしなみや口腔内の清潔保持に力を入れていく。チェック表を活用して、行っていく。必要時には速やかに見直しをして、使用していく。 アセスメントや日々の記録の中で、状況を把握し、現状や今後について、会議等で話し合い、より良い支援につなげていく。 アセスメントを活かした支援の取り組みを行なう。 一人ひとりの生活リズムを活かした取り組みを行なう。 	12ヶ月
3	27	個人支援経過やチェック表を記入しているが、事実のみの記載が多く、詳しい状況まで記入できていないことが多い。	<ul style="list-style-type: none"> 事実のみではなく、その前後の様子なども記載していく。 日々の様子やケアの実践、気づいたことや工夫したことを記入していく。 記入すべき内容を確実に記載していく。 他の職員にもわかるように記載していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人支援経過の記載方法の研修。 お互いに記入内容についてアドバイスしあう。 他の職員が記入した記録を読み、良いところを取り入れる。 	12ヶ月
4	48	余暇活動がマンネリ化してきている。重度者や体調不良者に比重が置かれ、軽度者の方々の外出支援の工夫ができていない。	<ul style="list-style-type: none"> 余暇活動のバリエーションを増やす。 短時間でもいいので、外出に力を入れる。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な余暇活動を探して、実践してみる。 それぞれの入居者に合わせた余暇活動を探して実践してみる。 個人別の余暇活動の内容を表にしておく。随時、更新していく。 短時間でもいいので、買い物や散歩に行く。 	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。